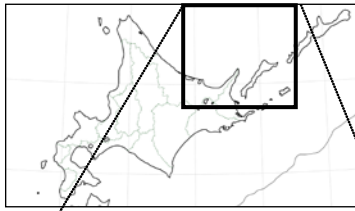


## 10月26日 国後島付近の地震

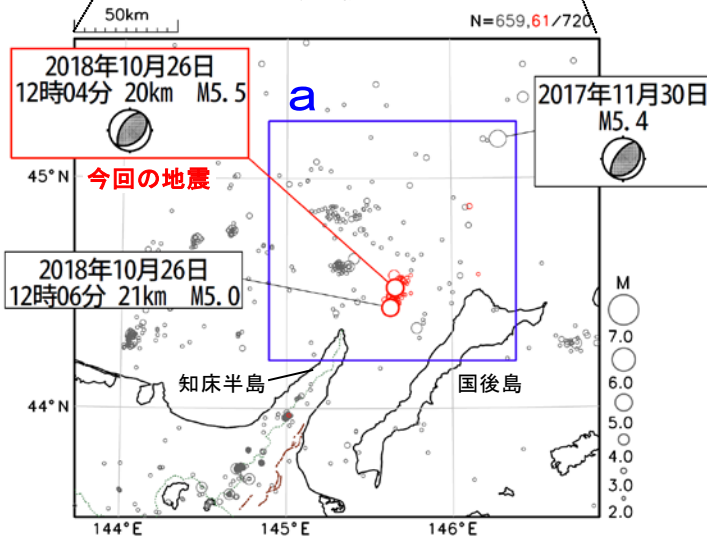
北海道周辺の地図



震央分布図

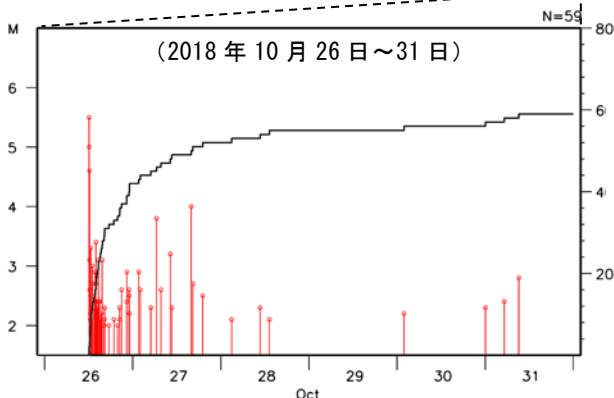
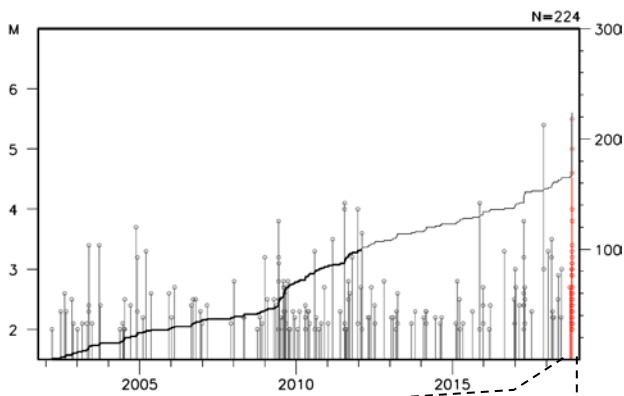
(2001年10月1日～2018年10月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2018年10月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解



震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の  
長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



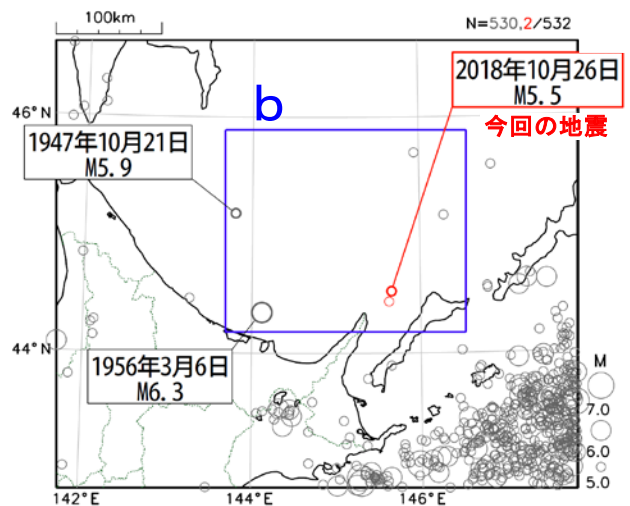
2018年10月26日12時04分に国後島付近の  
深さ20kmでM5.5の地震(最大震度3)が発生  
した。この地震は、発震機構(CMT解)が北  
西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸  
のプレートの地殻内で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地  
震の震源付近(領域a)では、M4.0程度の地  
震がしばしば発生している。2017年11月30  
日には、今回の地震の震央から北東に約80km  
離れた場所でM5.4の地震(最大震度1)が発  
生した。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の  
震央周辺(領域b)では、M5.0を超える地震  
は4回発生していた。今回の地震の震央から  
西南西に約120km離れた場所では、1956年3  
月6日に網走沖でM6.3の地震(最大震度3)  
が発生し、ごく軽微な被害が生じた(「日本  
被害地震総覧」による)。また、網走では7  
cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観  
測した(「北海道の地震津波」(札幌管区気象  
台)による)。

震央分布図

(1923年1月1日～2018年10月31日、  
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ )  
2018年10月の地震を赤く表示



領域 b 内の M-T 図

